

## インフラ維持管理技術・アイデアコンテスト仕様書2

### 1 募集するアイデア

ガードレール等基礎部の防草パッキング工法

### 2 背景と目的

ガードレール等の基礎部は、草刈り機が金属柱等を傷めたり、刈歯を傷めたりするため、作業がしづらく冬場になっても見栄えの悪い草が目立つ。このため多年草が生えている所も多く、草が刈れた冬場でも根がしっかり張っており、基礎部周辺の雑草に対しすっきりとした対処がしにくい。そのため、雑草が生えるガードレール等基礎部の美装化に適した素材・技術を募集する。

なお、令和3年8月27日から実施した「隙間除草問題解決のための施工技術アイデアコンテスト」で選定した熱湯除草技術とパッキング技術の活用も予定している。

### 3 募集内容

令和4年1月27日に公表した「お手軽！除草・防草マニュアル」にも示すとおり、熱湯散布後7～10日で雑草が抜きやすくなる性質を使って、ガードレール等のコンクリート製基礎部やその周囲の隙間除草を試みる。熱湯散布後、一定期間をおいて除草作業したあとの防草措置（パッキング）に適した素材を募集する。

なお、本パッキング素材は、①シリコン塗料、②珪砂とウレタン樹脂を主材とした練材と比較検証の価値が認められる素材とする。

また、パッキング素材では難しい、ガードレールポスト等が打ち込まれている「細長い帯型の土の面」や「植栽帯」の防草に適した素材・技術も提案を求める。

以上を踏まえ、以下に示す素材や技術を募集する。

- ① ガードレール等のコンクリート製基礎部の窪みや隙間を、熱湯除草後にパッキングするのに適した素材・技術で防草効果が期待できるもの。



写真 2-1 コンクリート製基礎部窪みの草



写真 2-2 コンクリート製基礎部隙間の草

- ② ガードパイプ支柱等が打ち込まれている「細長い帯型の土の面」や「植栽帯」の防草に適した素材・技術であるとともに、難燃性で耐久性や透水・保水性が期待できるもの。



写真 2-3 ガードパイプ支柱周辺の草



写真 2-4 ガードレール支柱のある植栽帯の草

#### 4 留意事項

審査は、どのような実証実験等を行うことが技術確立・社会実装に向けて効果的か、取組内容と各者の役割などと併せて検討し、実証実験等への参加者を選定する。

なお、応募アイデアが成長過程にあるものであっても、実現可能性や実現した場合の効果に配慮して選定することがある。

応募書類の作成・提出に要する経費、ヒアリング審査の準備・参加に必要な費用は、すべて応募者の負担とする。(人件費、機材、素材、旅費等の費用は一切なし。)

実証実験等への参加者として選定された場合は、実証実験や住民・立地企業に対する技術講習会等の実施に必要な、素材提供の費用、機材の運搬・運転費用(人件費含む)、実証実験や技術講習会の旅費交通費など、直接的経費の一部または全部を、予算の範囲内において阪神南県民センターが負担する。